

低炭素建築物新築等計画 認定申請手数料

(単位:円)

区分	認定申請			変更認定申請		
	適合証(※)添付なし		適合証(※) 添付あり	適合証(※)添付なし		適合証(※) 添付あり
	標準入力法 主要室入力法	モデル建物法		標準入力法 主要室入力法	モデル建物法	
A 住戸部分 (住戸数)	1戸(戸建て住宅)	34,000		5,000	20,000	5,000
	2戸以上5戸以下	69,000		10,000	39,000	10,000
	6戸以上10戸以下	97,000		16,000	57,000	16,000
	11戸以上25戸以下	136,000		27,000	82,000	27,000
	26戸以上50戸以下	196,000		45,000	120,000	45,000
	51戸以上100戸以下	280,000		80,000	180,000	80,000
	101戸以上200戸以下	380,000		127,000	253,000	127,000
	201戸以上300戸以下	498,000		160,000	329,000	160,000
	301戸以上	584,000		171,000	378,000	171,000
B 共同住宅の 共用部分 (床面積)	300㎡以内	109,000		10,000	59,000	10,000
	300㎡超2,000㎡以内	180,000		27,000	103,000	27,000
	2,000㎡超5,000㎡以内	280,000		80,000	180,000	80,000
	5,000㎡超10,000㎡以内	359,000		127,000	243,000	127,000
	10,000㎡超25,000㎡以内	429,000		160,000	295,000	160,000
	25,000㎡超	500,000		200,000	350,000	200,000
C 非住宅部分 (床面積)	300㎡以内	240,000	96,000	10,000	125,000	53,000
	300㎡超2,000㎡以内	383,000	157,000	27,000	205,000	92,000
	2,000㎡超5,000㎡以内	545,000	250,000	80,000	313,000	165,000
	5,000㎡超10,000㎡以内	668,000	324,000	127,000	398,000	226,000
	10,000㎡超25,000㎡以内	788,000	388,000	160,000	474,000	274,000
	25,000㎡超	899,000	454,000	200,000	550,000	327,000

※ 「適合証」には「住宅の品質確保の促進等に関する法律」に規定する設計住宅性能評価書(断熱等性能等級5以上かつ一次エネルギー消費量等級6を満たしているもの。)を含む。ただし、設計住宅性能評価書の場合、再生可能エネルギー利用設備の仕様を示した書類も提出が必要。

●手数料の算定方法について

- ・住宅(戸建て住宅、長屋、共同住宅)の場合
住戸数に応じた手数料(A) + 共同住宅の共用部分の床面積に応じた手数料(B)
- ・住宅・非住宅複合建築物の場合
住戸数に応じた手数料(A) + 共同住宅の共用部分の床面積に応じた手数料(B) + 非住宅部分の床面積に応じた手数料(C)
- ・非住宅の場合
非住宅部分の床面積に応じた手数料(C)

●手数料算定例

例1 戸建て住宅の場合

34,000円(A)
(適合証を添付する場合は、5,000円(A))

例2 共同住宅(住戸の数が10戸、共用部分20㎡)で住戸の部分のみの認定の場合

97,000円(A)
(適合証を添付する場合は、16,000円(A))

例3 共同住宅(住戸の数が10戸、共用部分20㎡)で建築物全体の認定の場合

97,000円(A) + 109,000円(B) = 206,000円
(適合証を添付する場合は、16,000円(A) + 10,000円(B) = 26,000円)

例4 店舗併用住宅(店舗床面積30㎡)で建築物全体の認定の場合

34,000円(A) + 240,000円(C) = 274,000円 (複合建築物扱いとなる)
(適合証を添付する場合は、5,000円(A) + 10,000円(C) = 15,000円)

例5 事務所(床面積500㎡)の場合

383,000円(C)
(適合証を添付する場合は、27,000円(C))